

# ～EV-Grid連携・活用検討会について～

2025年8月28日

大阪大学 大学院

西 村 陽

# EV-Grid連携・活用検討会について

- 2025年度は、昨年度の検討結果を土台に、新たなユースケースの検討に向けた情報交換・議論を民間事業者間(自動車OEM、アグリゲータ、一般送配電事業者等)で継続中
- 先行する家庭用蓄電池のDRreadyについての検討状況も踏まえて、他の関係団体とも連携して自動車用蓄電池の活用のあり方を検討予定(勉強会参加のJEMAとは意見交換開始済み)

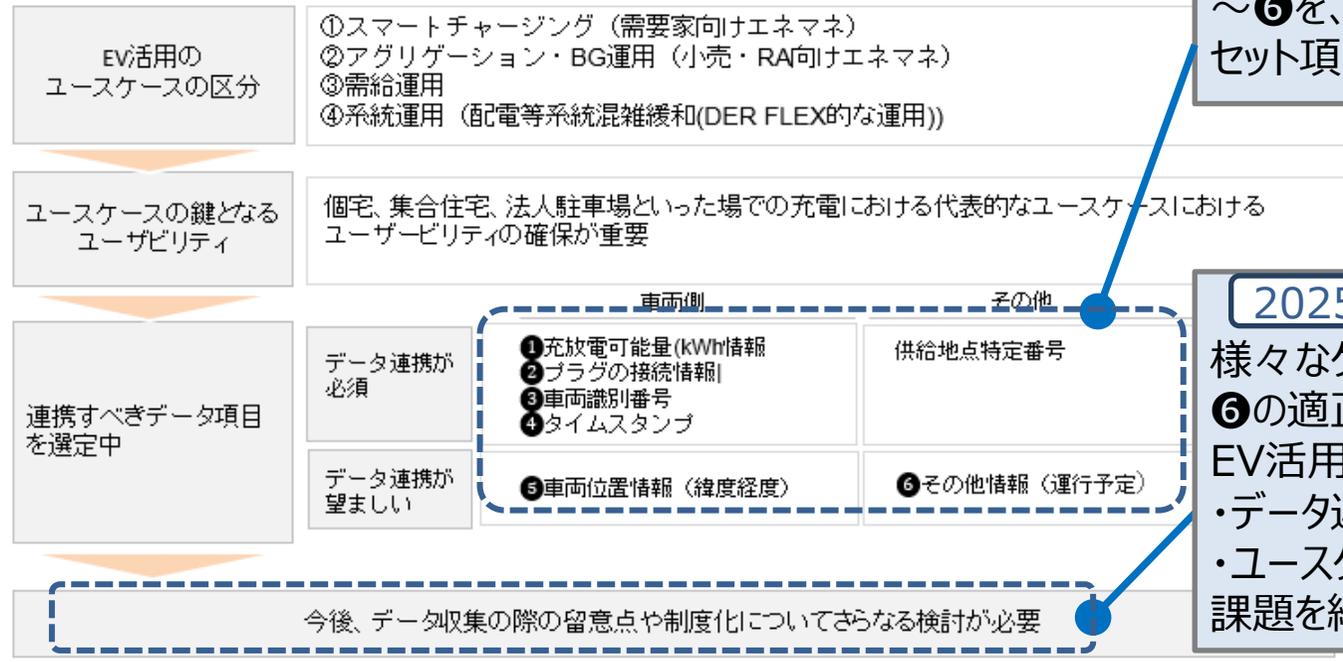
## EV-Grid連携・活用検討会について

2025.3.21

2025年3月21日  
第5回DRready勉強会 資料7

2024年2月まで経済産業省で開催されていたEVグリッドワーキンググループとりまとめを受けて、国民(自動車OEM、アグリゲータ、一般送配電事業者等)の検討の場をスマートレジリエンスネットワークに設置し、2024年9月より2025年2月末まで5回(にわたり、DRとしてのEVのあり方について)と、DRreadyの要素が強く、次のスコープとして入りうるようになってきた

### EV-Grid連携・活用検討会の検討ステップ



### 2024年度の検討

「連携すべきデータ項目」①～⑥を、データの標準的なセット項目として整理。

### 2025年度以降の検討

様々なケースを置いて①～⑥の適正性を確認しつつ、EV活用の社会実装へ向け  
・データ連携頻度、データ長  
・ユースケースの拡大等の課題を継続検討。